

あなたも読みください
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 1カ月 3400円
日曜版1カ月 800円

手良民報

生活相談はお気軽に
電話 78-0943

赤旗読者に配達

発行

日本共産党・手良支部

今年で14回目

井上井月を偲ぶ句会

手良公民館と「井上井月を偲ぶ句会」の主催による句会は3月24日に中坪公民館で行われ12名が参加しました。

この句会は明治の漂泊俳人井上井月が手良でも句会を催していたことにちなみ、毎年行われ今年で14回目になります。

俳句は手良全域より23句が集まりました。春日愚良子さん（有線放送「暮らしの文芸」俳句選者）の選句を元に句会で表彰が行われました。天位賞 雪どけの野の畠広く陽があたる 小池竹子

地位賞 重ね着を脱ぎて明るく春日かな 山岸アイ子
人位賞 土手焼きの煙のにおい春一番 小松利江

佳作 北の土手に雪は残りて東風（こち）吹きぬ 高橋 忠
浅春に冬菜のかこい青くなる 向山ヒロ子
雪解川（ユキゲガワ）ぶつかり光る水の玉 向山光子

表彰の後、春日愚良子さんより投句一つ一つについて懇切丁寧な話がありました。春日さんは俳句は事実

ひろみ通信

167

毎週金曜日

「脱原発いな金行動」

東日本大震災による福島第一原発事故によって今も多くのみなさんが避難を余儀なくされ、県内に留まっている人たちも放射能の脅威にさらされています。

最近も放射能に汚染された水が地下に漏れたという事故が相次いでいます。

さよなら原発上伊那の会では、毎週金曜日「い

なっせ」北側広場で「脱原発いな金行動」を行っています。ハンドマイクで訴えたり、歌を唄ったりしています。静かに旗を持つ人も。午後6時から30分間です。どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。私も、できるだけ参加しています。

北朝鮮のミサイル挑発

北朝鮮は韓国や日本への力に対してミサイル発射を行うような挑発する言動を続けています。

日本共産党は、このよ

うな北朝鮮の挑発やミサ

イル発射は断じて許されるものではないとして、抗議声明を行っています。

北朝鮮は独裁国家であり、共産主義とは無縁の国家です。

日本共産党は、北朝鮮は核開発を止め、近隣諸国と対話による外交を行うべきと考えています。

それが、北朝鮮の国民にとつても将来の幸せを保障することも考えています。

4月15日



句会

健康チエックの集い

医療生協手良支部

上伊医療生協手良支部ではこの間、一般にもよびかけて、ボランティアによる健康チエックを5箇所で行い42名が参加しました。3月27日は中坪高齢者クラブが12名、4月4日は野口公民館で8名、4月9日の昼間は堀之内集会所で8名、夜は中坪公民館で7名、4月12日は郷之坪集会所で7名が参加しました。大腸がんチエックは

16名が行いました。健康チエックでは血圧測定、骨密度検査、体脂肪（内蔵脂肪）検査、尿検査、便検査などの他に簡単な転倒防止等の体操を行いました。医療生協では3人以上集まれば健康チエックの集いを行うとしています。



堀之内健康チエック

柳川ひろみ後援会のお花見会

柳川ひろみ後援会のお花見は4月7日に手良からも参加して約50名が集まり開催されました。予定した会場の伊那公園は桜は満開でしたが、

予定した会場の伊那公園は桜は満開でしたが、天気不安定のため急遽会場を移し、桜の花を会場に飾って中央区公民館で行いました。

伊藤後援会長よりは桜の花は「桜に鑑」と戦争中は軍国主義の推進に使われたが、戦争がなくなつても桜の花の美しい国でありたいと挨拶があり、大我日本共産党上伊那地区委員長からは安倍

内閣の反国民的な実態に触れ参議選への猛タツシユが訴えられ、柳川議員からは今日の参加と日頃の支援のお礼があり3月議会を中心

に環状南線、35人学級、中学3年生までの医療費無料化、伊那中央病院のがん治療率、体罰問題など本人の活動と市政の報告がありました。

懇親会では歌も出て賑やかに親睦を深めました。

柳川後援会お花見会



柳川後援会お花見会

てらのさと

今年は天候不安定で桜の花の咲く時期が人間の生活と合わずお花見のタイミングもくるってしまつた。

花は例年より一週間も早かつたり、桜の時期に強い風が吹いたり雨になったり。それでも桜は自然の摂理に従つて綺麗な花をつける。野口中組の桜は美しい花をつけるが、近頃は余りお花見に来る人も少なくひっそりと静かに咲いている。二、三十年前にお年寄りの皆さんが植えたものらしい。桜を植えた人達は将来、きれいな桜をみんなに観てもらえたらという思いがあつたであつたが、特に若い人達が仕事も生活もせわしくなつており、ゆつくりと桜の花も見ていられない昨今である。早く花をゆつくり見られる時代にしなければ手良には美しい桜がひっそりと咲いている所が他にもあるかもしれない。それも風情があつて良いかもしれないが、せつかなのでみんなに知らせてみんんで楽しみたい。ある集いで、戦争中は「桜に鑑」と桜も軍国主義の推進に使われたという話があつた。美しい桜の花をいつまでも戦争のない平和のうちにゆつくりとお花見をしたいものである。政治情勢もそのことを強く感じる今日この頃である。

(T)

「手良誌」編集を振り返って

戦後、手良公民館が郷土史の講座を企画し、昭和50年代には手良出身の故郷原真人先生による研究会が更には平成4年には郷土史家池上直直先生による研究会がそれぞれ何回にもわたって開かれ、熱心な地域住民の皆さんが参加して手良の歴史を学習したのでした。

北原真人先生は研究者の代表として、「伊那市史」編集の初期に置いて、広範な資料探索と収集を指揮され、市史作成の礎（いしずえ）を築かれました。後、惜しくも病に倒れられましたがその功績は忘れてはならないと思います。また死後その膨大な、歴史研究にとつて極めて貴重な書籍類が夫人の申し出により、伊那市に寄贈され創造館に納められています。

者の一人であり、郷土史研究では多くの業績を残されている方です。池上先生は市史編集で収集された資料やその他の資料を解説され、手良の歴史について特に江戸時代について、産業、村政、社会、文化等を丹念に紹介しながら総合的に講義をしていただきました。その際のプリントが残っていて、「手良誌」近代編は多大な恩恵を受けました。

この他にも、上伊那の郷土研究の大御所故赤羽篤先生、現在も活躍中の竹入弘元先生、当時の市教育委員兼職員飯塚政美さん等も公民館講座で手良に関する講義をしていただきました。時には講座に参加したメンバーで、手良を支配した千村氏の本拠地久々利（くり）（現在岐阜県可児か）に（市）を訪れたこともありました。

最近では、中坪区が熱心にまとめた「中坪の歩み」を挙げないわけにはいきません。同時代を生きたく々々の証言は生々しく、それだけに懐かしくまた胸を打つものがあり、手良誌のコラム「こぼれ話」の幾つかを飾るものとなりました。また昭和60年には公民館長の石倉さんが手良の歴史をまとめようとして、年表作成や資料作りをされており、これも今回の「手良誌」執筆に役立ちました。

住民の中にも野口の故郷井靖男さんのように、沢山の山論（入会権の争い）についての史料整理・解説をされた方々の貢献は特筆されなければならぬと思えます。

編集員の一人城倉肇さんはその記憶力と歴史への興味関心から、多くの情報を整理しご自分でまとめた冊子が何冊もあり、これまた貴重な証言となりました。「手良誌」執筆上欠くことのできない文献として触れておきたいものは、昭和40年に上伊那教育界が刊行した「上伊那誌」と昭和59年出版の「伊那市史」です。戦前、上伊那教育会は「上伊那郡誌」を作りましたが、此の中心となったのが唐澤貞次郎で、彼は下手良堀ノ内の向山家（屋号新井）に生まれ、長野師範学校を出て教育界に身を置きながら歴史研究に勤（いそ）しみました。（伊那の小沢の唐澤家に養子に入つた）この「上伊那郡史」は今なお不朽の名作で、「上伊那誌」にも多大な貢献をしたといえるでしょう。いづれにしても歴史上の手良についての基本的な知見は以上の文献を参照することから始まります。

こんなにも多くの先人の皆さんの努力、大変な営みの積み上げの上に「手良誌」が生まれたことを私たちは畏敬と感慨を以て受け止めたいものです。再度「ローマは一日にして成らず」。

生活雑記 108

不安だね

小松利江

あれあれと思う間に今年も大型連休が目の前に迫ってきた。

本当に早いねえ、時間の流れがさ。歳をとると一日も一週間も一月もアツトと思う間に過ぎてしまつよねえ。お茶のみ友達と何時もこんな話がお茶菓子の代わりになつてしまつ。

先日夫の親友がこの

世を去ってしまった。昨年の暮れから四ヶ月の間に八ツ手だけで六人もの方がなくなつた。今年は嫌な年だねえ。

世の中の慌ただしさといつか、厳しい寒さが陰の世界へ誘いこんだのか、安倍総理の二本の矢も中々の現況が続いている。

新聞やテレビでは報道されない厳しい現実が若い働き盛りの人にじわじわと迫っているし鬱病は年代を問わず国民病のよ

うに広がり、先の見えな

い厳しい現実が続いている。円が安くなつたら、燃料がどんどんあがり寒い冬が一層きびしさを増し車のガソリンの目減りがとても早く感じ、年金生活者にはとても不安だらけの日々が続く。

犬の散歩で村の外れから外れまで歩いてみると、今まで気にも止めなかつた空家が目につくようになった。

今年の一年生の入学児童は八ツ手では一人だけだった。なんだか淋しいねえ。

下水道維持管理組合 総代会

手良地区農業集落排水（下水道）維持管理組合の総代会が3月23日に開催され、平成24年度の事業報告と会計報告、平成25年度の役員・総代が承認されました。

事業報告は「清流の里公園」管理作業3回、総代研修会等で手良浄化センター視察などでした。

会議の中で、手良地区の水洗化率が77%で伊那市平均の78.7%より低いので推進のこと、総代会も重要な決議事項はないので「ありかた」について今後検討するなどの話がありました。

今年も美しく咲きました

野口中組の桜

野口中組の向山宏さん宅横の道を東に登った所に堤の跡があり、そこに今年も桜が美しく咲きました。

十五株くらいあり、咲く時季も違っているいろいろ

静かな余生を過ごしてあの世へ旅立ちたいものだとしみじみ思つ。



野口中組の桜



俳句 花筏 高橋きんよ

悠然と山はあるなり桜散る
風吹いて水面(みなも)に寄せる花筏(いかだ)
曇(つちふる)や黄砂と共に吹きぬける
間引き菜の緑がかこにあふれけり
水温み幼な子の手に鮎(あし)かとの紐

（おながい）
身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思えます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。

七八〇九四三 高橋

今年最初の「わいわいくらぶ」

日差しも春らしくなつた4月10日、今年度初めてとなる「わいわいくらぶ」が手良公民館で行われました。

「わいわいくらぶ」は手良公民館が主催し、未就園の親子なら誰でも参加することができ

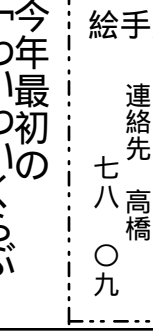
毎月2回、第2・第4水曜日に行われ、親子で思い切り体を動かせるキッズピクニックや、流しそうめん、運動会にクリスマス会など年間を通して様々な企画が予定されています。

昨年年度から手良地区以外からの参加も増え、今年度は14組の親子でスタートしました。

公民館長さんや主事さんに挨拶をしていただき、その後参加者も各々自己紹介をし、お菓子とお茶で楽しく談話しました。

ご興味おありの方はぜひお気軽にご参加ください。

連絡先 高橋 七八〇九



向山光子